時事新報

東京　明治十七年八月五日　火曜日　第七百廿九號　日曜日休刊　定價金三錢

公報

○東京府達丙第百二十四號　郡區役所　戸長役場

本年丙第八十三號達區町村費目書備費ノ次ニ勧業費ノ目ヲ追加候條此旨相達候事

明治十七年八月四日　東京府知事芳川顯正代理
東京府大書記官銀林綱男

○警視廳告示第六號

明五日午前八時ヨリ正午十二時迄當廳内ニ於テ新鑄ノ半鐘音響試驗ヲナス

右告示候事

明治十七年八月四日　警視總監　大迫貞清

時事新報

人民一般ニ世界萬國ノ思想ヲ養フヿ緊要ナリ

外國人ノ治外法權ヲ撤去シテ隨テ海關稅ノ全權ヲ日本國ノ主人タル我一手ニ執ル可キハ當然ノ理ニシテ彼ク遲疑ス可キニモ非ズ我レニ取ル所アレバ彼レニモ亦與ル所ナキヲ得ズ即チ内外締盟三十年來外國人ガ利用シタル治外法權ヲ棄テ去ルノ其代リニハ我日本國ヲ打開キテ外國人ノ通商住居ヲ許シ内外人ノ間ニ毫モ區別スル所アル可ラズ誠ニ以テ簡單卒極ノ事柄ニシテ之ヲ行フニ何ノ故障モアル可ラザル筈ナルニ條約改正ト云ヘバ明治四年以來ノ問題ト爲リ今日ニ至ルマデ毫モ其進歩ヲ見ザルハ何ゾヤ人或ハ其罪ヲ當局者タル我外交官ニ歸スル者アリト雖ドモ是レハ思慮ノ甚タ近浅ナルモノニシテ敬服スルニ足ラズ條約改正ノ不調ガ外交官ノ罪ナリトハ其官人ガ内外ノ事情ヲ知ラザル歟、治外法權ノ無理ナルヲ悟ラザル歟、海關稅法ノ我レニ不利ナルヲ辨ヘザル歟、之ヲ知リ之ヲ悟リ之ヲ辨ヘテモ外國人ニ向テ之ヲ談スル程ノ勇心ナキ歟、我輩ガ所見ニテハ明治ノ初年ヨリ今ニ至ルマデ外交官ノ更迭ハ一度ナラズ人物ハ樣々ニ交代シタレドモ凡日本國中ニ於テ内國ト外國トノ關係ニ付キ其情ヲ詳ニスル者ハ外務省ニ在リト云ハザルヲ得ズ、其情ヲ詳ニシテ其交際ノ衝ニ當ルモノナレハ飽クマデモ治外法權ノ無理ナルヲ知リ、海關稅法ノ不利ナルヲ辨シ、外國人ニ向テ之ヲ談論スルノミナラズ困難ニ際シテハ終日食ハズ終夜寢ザル程ノ苦辛モアルコトナラン人事ニ於テ當サニ然ル可キ數ニシテ日本國中外交ノ事ニ熱心ナルモノハ我外交官ナリト云ハザルヲ得ズ條約改正ノ不調稱リ外交官ノ罪ニ非ザルナリ

然バ則チ其罪ノ所在ハ何レノ處ナルヤト尋ルニ我輩ハ斷シテ之ヲ日本國民全体ノ罪ナリト云ハント欲スルモノナリ抑モ外國條約ニ關スル利害ハ偏リ政府ノ利害ニ非ズシテ日本國民全体ノ利害ニシテ外交官ハ唯コレヲ處分スルノ衝ニ當ルモノナレ𪜈其利害ヲ爭フヤ國ニ對シ一身ノ私ニ非ズ又一政府ノ爲ニ非ズ畢竟スルニ國民ノ利害云々ヲ其輿論云々ヲ其據ニシテ談緒ヲ開キ怡モ國民ヲ代表シテ事ヲ論スルモノナレハ其議論タル國民ガ當然トシテ自カラ度外ニ居ルガ如キ有ル可カラザルノ理ナリ其輿論ニ權力ヲ失フヲ成跡ノ見ル可ラザルヤ明ナリ

[illegible]ノ輿論ニ權ル所ナリ項日外人某氏ガ雇用ヲ以テ内地ノ處々ヲ巡回シテ歸途シタリトテ之ニ面會シテ其言ヲ聞クニ云ク年來日本政府ハ條約改正ノ事ヲ議論シテ頻リニ之ヲ與國諸政府ニ促シ又東京都下ノ論客ノ言、新聞紙ノ說ニモ治外法權ヲ撤去セント云ヒ又ハ海關稅法ヲ改革セント云ヒ其言論ハ何レモ皆國民ノ利害且タ迫リテ輿論ノ最モ急ナルモノ、如クニ喋々スレ𪜈余ガ今回各地方ヲ經歷シテ親シク情況ヲ視察スルニ大ニ趣ノ異ナルモノヲ發見シタリ地方無數ノ人民ハ條約改正ノ事ヲ熟慮セザルノミカ本來條約ノ何モノタルヲ知ラズ我々ヲ見レバトテ其英人ナルカ佛人ナルカモ知ラザレバ英國佛國ノ所在ヲモ知ラザルヿナラン學校ノ少年ニ横文ヲ知ル者甚タ稀ニシテ各地ニ洋語ヲ解スル者絶無ニ近シ、加之日本ノ知識ハ政治ノ下ニ集合シタリト云フ其政府ノ筋ナル地方官ニ逢フテ相互ニ談語諮詢スルニ其言フ所ハ一地方施政ノ情況ニ過キズシテ勵モスレバ學校病院等ノ談ヨリ花鳥風月山水ノ閑話ニ終ルノミ成ル程日本内地ノ治術ハ甚タ整頓シテ違スル所ナク實ニ東洋蕞國ニ擅ンデ、絶倫例外トモ稱ス可キナレ𪜈人民一般ニ外國交際ノ事ヲ度外ニ置クヤ又甚シト云フ可シ下流ノ群民ハ無論、其上流ノ地位ニ立ツ地方ノ官人ニシテ幾處幾回ノ談話ニ一言ノ條約改正論ニ及ビタルヿナク、治外法權ノ事ヲ語ラズ、海關稅法ノ事ヲ問ハズ、之ヲ要スルニ日本ノ内地ニハ尚未タ外交ノ利害ヲ感セザルノミナラズ或ハ世界萬國ノ思想ヲ缺クモノト評スルモ可ナラン左レバ近來東京ニテ喋々タル條約改正論ハ唯是レ日本國中ノ一部分然カモ其表面ノ一斑ニ行ハルヽ奇言ニシテ固ヨリ以テ國民全般ノ輿論トシテ認ム可キモノニ非ズ云々ト

我輩ハ以上某氏ノ言ヲ聞キ其斷定ノ酷ナルニ服スルヲ得ズ氏ガ我地方ヲ巡回シタレバトテ僅々幾週間ノ旅行ニシテ其見ル所仮令ヒ或ハ廣シトスルモ深キヲ得ズ殊ニ氏ガ言ノ如ク我日本人ハ尚未タ外國ノ事ニ慣レザルガ故ニ外國人ハ面會ハ兎角手重キヿト思フテ地方ノ有志輩モ特ニ氏ヲ訪ヒ又氏ニ訪ハレタルヿモ少ナク之ガ爲ニ事情視察ノ不行屆ナハ當然ノ次第ナレ𪜈我輩ヲ以テ考レバ氏ノ言モ亦全タ抹殺ス可ラザルモノアルガ如シ我内地ノ人民ニシテ苟モ其社會ノ表面ニ立テ志ヲアル人物ハ今日外交ノ難難ヲ知ラザルナシ況ヤ政府ノ部内ニ居ル地方官ノ如キ素ヨリ憂ヲ抱クヿ大ナリト雖ドモ其職務ノ目的專ラ内ニ在ルガ故ニ自カラ外交ノ事情ニ疎ニシテ細目ノ談ニ若シムノ情ナキヲ得ズ官人ニシテ斯ノ如シ人民ノ之ヲ口ニセザルモ亦謂レナキニ非ズ是即チ各地方ニ外交論ノ寡々タル由縁ナラン然リト雖ドモ今日ハ是レ條約改正ノ期ニシテ其期ハ既ニ已ニ機ニ發レタリト云フ可キ日ニシテ苟モ日本國民タル者ハ之ヲ心ニ憂ルノミナラズ口アル者ハ之ヲ口ニシ筆アル者ハ之ヲ筆ニスル等心身勞シテ應分ノ力ヲ盡ス可キ場合ナレバ中央政府ノ諸官省ヨリ進方ノ地方官ニ至ルマデモ仮令ヒ其身ハ外務ノ事ニ奉職セザルモ常ニ外交ノ事ヲ講論シテ細目ノ利害ヲモ明ニスルハ今日ノ急要事ナル可シ殊ニ地方官ノ如キハ直ニ人民ニ接シテ其言行ノ影響スル所モ廣キガ故ニ外交論ニ明ナラズシテハ意外ノ處ニ不都合ヲ生ス可ケレバ政府ニ於テモ特ニ其撰任ニ注意ヲ加ヘザル可ラズ人ニ薪書アリ伎倆ニ長短アリ要用ノ場合ニ於テハ地方ニ新鮮ナル人物ヲ增シ又ハ新舊交代セシメテ人民ノ標準ト爲シ下流ノ衆庶ニ至ルマデモ世界萬國ノ思想ヲ抱カシムルハ急務事中ノ最モ急ナルモノト信スルナリ

電報

○八月四日横須賀發　佛國郵船會社汽船タナイス號は當所ゑ到着して既ゑ船渠中ゑ入れり

○八月二日長崎發　米國旗艦トレントン號は本日下ノ關海峽にて淺瀬ゑ乘り上げたり

○八月四日長崎發　トレントン號は去る二日の午後下ノ關海峽西方の入口にて淺瀬ゑ乘り上げたれども水底岩礁なる處場所ゑりしかば昨夜他れ扶助を俟たずして其障碍を退け今朝長崎に向け出發したる由なれば船體ゑは多分損所ゑりうる可し

○八月一日上海發　或る信用ゑ可き筋よりの報道ゑ據るゑ閩江總督曾國荃は佛國公使パテノートル氏と豫定條約を整へ愈其條約を決定する時日ハ本月四日まで延引されたるが當日は平和の結局に至ると疑ゑし又其償金の額は未ざ分明ゑらざれども佛國は清廷より申出したる箇條中不滿足を言ひ出したるものゑる由

○七月廿三日福州發　佛國軍艦は支那人の爲めに其港口を封鎖せられんとを恐れ其出口近くに碇泊し居れり○支那人ハ當港近邊の岡阜に大砲を備へたり○支那兵の乘込みたる軍艦數艘又々當港に到着したり○斯かる軍備を見て當港の住民は事平和ゑ歸して萬々危難ゑかる可しと信ぜる者ゑし

雜報

○行啓御延引　皇后宮には明六日鮎漁御覽の爲め埼玉縣下荒川筋へ行啓遊ばさるゝ旨前號へ記せしが右ゑ昨今暑氣甚しきに付一と先づ御延引ゑなりしやに承る

○露國皇后の誕生日　一昨日ゑ同皇后の誕生日ゑ相當せるを以て在横濱港の露國軍艦は祝砲を發し同港在留の露國人は夜に入り彩燈を照らして其祝意を表しゑりと云ふ

○川村海軍卿　海門號よて去月三十一日藍州宮島へ若したる川村海軍卿は今度令息純三郎氏の病死せしとの報知ゑりしゑ付來る七日歸京すべき旨昨日自邸へ電報を以て申し越しゑるよし

○曾我中將　義ゑ下總相模両國へ出張したる參謀本部次長曾我中將は去月三十日歸京しゑり

○軍列式　是迄司令官が各鎮臺へ新たゑ就任の節は其臺下の諸隊を召集して軍列式と義行するを例となし司令官代理の者が就任の時は別に其式もゑかりしが若し兵卒輩が司令官の容貌ゑ以て尊卑ゑ[illegible]ゑ既に昨日ゑ三好東京鎮臺ゑ行したり

○事務ゑ本日舊地へ赴ク　[illegible]

○轟參謀　[illegible]上轟參謀ゑは昨日ゑ[illegible]たり

○歸任　[illegible]歸任の[illegible]

○新華族　[illegible]名は近[illegible]が尚其[illegible]れも漸[illegible]

○位階ゑ[illegible]び官等ゑ[illegible]なりしゑ[illegible]ゑ人も右[illegible]

○官廳ゑ[illegible]調査課[illegible]部省ゑ[illegible]ゑ總[illegible]會計二[illegible]命せら[illegible]せられ[illegible]

○艦[illegible]を開く[illegible]より開[illegible]れたり[illegible]

○司法[illegible]りしに[illegible]て調査[illegible]て飼養[illegible]

○軍艦[illegible]型卅一[illegible]十一日[illegible]春日艦[illegible]錨せり[illegible]

○水[illegible]徒中[illegible]船場近[illegible]